（様式１）

職業実践力育成プログラム（BP）への申請について

令和3年10月　　日

①学校名：	鹿児島　　大学（国立）	②所在地：	鹿児島市郡元一丁目21番24号		
③課程名：	次世代林業マイスター養成講座	④正規課程／履修証明プログラム：	履修証明プログラム	⑤開設年月日：	平成20年4月1日
⑥責任者：	農学部農林環境科学科 教授　枚田　邦宏	⑦定員：	12人	⑧期間：	6ヵ月
⑨申請する課程の目的・概要：	本研修は、林業現場の中核を担う素材生産事業体等の生産管理者やその候補者を対象として行う。養成する人材の目標は、安全と環境に配慮しながら、木材生産・再造林のコスト縮減、ICT技術の活用や施業集約化等による高度な森林管理・経営を持続的に実現できるようになることである。鹿児島大学が有する知識や過去の実践と、長年にわたり協力関係を結んできた林業関係諸団体とのつながりを生かし、大学演習林を利用した研修会を行う。講義内容は、変化し続ける林業現場に対応するための新たな課題を積極的に取り上げる。講義のスタイルとしては、講師との対話や演習を重視した双方向型、フィールド・先進事例地における見学会や実地研修、企業・実務家による、より実践的な研修内容を多く含めて実施する。				
⑩4テーマへの該当の有無	・地方創生・DX・ビジネス	⑪履修資格：	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者		
⑫対象とする職業の種類：	・木材生産事業体（森林組合、林業事業体等）の生産管理者及びその候補者の方 ・木材生産請負作業実施者の中から生産管理者としてステップアップを考えている方				
⑬身に付けることのできる能力：	（身に着けられる知識・技術・技能）持続的な木材生産に必要となる知識と技術	（得られる能力）ICT技術や施業集約化技能を活用した高度な森林管理能力			
⑭教育課程：	【全体の教育目標】1．森林所有者等からの素材生産の依頼に対し、安全・環境・資源の循環利用に配慮した適正な生産システムによる現場管理ができるようになること。2．林業の社会的な責任を理解し、ICTや木材流通・利用の最新動向をふまえて、市場や需要に対応できるようになること。3．対象森林の状況を判断し、施業地の確保や効果的・効率的な施業技術を実行することができ、なおかつ、事業体全体のマネジメントも理解できるようになること。 【科目編成】次の7科目（全60時間）の受講とレポート提出を必修とする。 ①木材利用の潮流・・・木材需要サイドの変遷と実態を理解する。 ②ICT林業・・・ICTを活用した森林情報の収集と利用法を学び、林業経営と木材流通に活用する。 ③主伐と再造林の課題・・・再造林の低コスト化などについて学ぶ。 ④素材生産業の社会的責任・・・素材生産業が、社会的に負っている責任について考える。 ⑤施業集約化・・・集約化の実務、勘どころについて習得する。 ⑥事業体会計・・・事業体全体のヒト・モノ・カネの流れを把握し、全体最適を目指す。 ⑦総合演習・・・先進事例地への見学会や、これまで習得してきたことを踏まえて総合的な議論を行う。				
⑮修了要件（修了授業時数等）：	60時間の授業時数を履修し、科目ごとのレポートの提出、および全課程終了後の教員2名による口頭試問に合格すること。				
⑯修了時に付与される学位・資格等：	履修証明書				
⑰総授業時数：	60　　時間	⑱要件該当授業時数：	54時間	該当要件	企業等双方向実務家実地
⑲要件該当授業時数／総授業時数：	90%				
⑳成績評価の方法：	講義科目ごとにレポートを提出させる。全課程終了後に教員2名による口頭試問を実施し、学習・定着状況を評価する。				
㉑自己点検・評価の方法：	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。林業関連団体で構成される評価委員会を設置し、外部評価を行い、その評価とあわせて授業担当教員で構成される実施委員会により、年度毎のプログラム実施状況と内容について自己点検・評価を行う。当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法：	修了生に半年後と1年後に調査票を送付し、本プログラム受講による業務上の変化について追跡調査する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み：	（教育課程の編成） 九州森林管理局、鹿児島県環境林務部、鹿児島県森林組合連合会および鹿児島県素材生産事業連絡協議会で構成される評価委員会を設置し、教育課程の編成に関する意見を取り入れる。 （自己点検・評価） 年度毎のプログラム実施状況と内容について自己点検を行った結果を、同上の評価委員会に報告し、受講生からのアンケート評価などから、講習内容の外部評価を実施する。				
㉔社会人が受講しやすい工夫：	林業生産が停滞する6月から開講し，生産活動が本格化する11月までで終了する。講義・実習等は演習林での宿泊合宿を基本として，集中的に受講できるように配慮する。				
㉕ホームページ：	（URL）https://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/ringyo/				

事務担当者名：	吉村学	所属部署：	農学部・共同獣医学部等学務課教務係
連絡先：	（電話番号） （E-mail）	099-285-8550 nkkyoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp	

＊パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
＊様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ（文部科学省使用）」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。